

Xanthomonas manihotis由来の β -N-アセチルヘキソサミニダーゼ、組換 え型

Cat. No. NATE-0934

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

この酵素は、複数の炭水化物から非還元末端の β 1-2、 β 1-3、 β 1-4および β 1-6結合のN-アセチルグルコサミンを放出します。低濃度 (<50 mU/ml) のオリゴ糖とインキュベートすると、酵素は GlcNAc β 1-2Man、GlcNAc β 1-4Man および GlcNAc β 1-6Man の結合を区別できます。このような条件下では、酵素は基本的に β 1-2結合のGlcNAcのみを切断しますが、2つの条件があります。第一に、 β 1-2 GlcNAc は、置換されたマンノースが C-6 で置換されている場合には加水分解されません。したがって、この酵素は三叉オリゴ糖の分析に有用です。第二に、保存されたペントサッカライドコアの β 結合マンノースが「ビセクティング」GlcNAc で置換されている場合、 α 1-3アームのマンノースに結合した β 1-2結合のGlcNAcのみが切断されます。酵素の濃度が高くなると、 β 1-4 および β 1-6結合のGlcNAc も加水分解される可能性があります。

用途

真核生物における糖鎖の生合成、さまざまな発現系における糖タンパク質の生産、タンパク質の消化、糖タンパク質からのN結合およびO結合糖鎖の除去、糖鎖の配列決定

別名

β -N-アセチルヘキソサミニダーゼ；N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼ， β -N-アセチルグルコサミニダーゼ

製品情報

種

ザントモナス・マニホティス

由来

E.coli

分子量

71000 daltons

濃度

4,000 ユニット / ml

単位定義

1ユニットは、1 nmolのGlcNAc β 1-4GlcNAc β 1-4GlcNAc-7-amino-4-methyl-coumarin (AMC)の端末非還元性 β -N-アセチルグルコサミンを95%以上切断するのに必要な酵素の量として定義され、37°Cで1時間、総反応体積10 μ lで行われます。

保管・発送情報

保存方法

4°C、繰り返しの凍結/解凍サイクルを避けてください。